

## IV-1-(1) 子どもの森林整備事業

### 1 実施主体(地区)

NPO等の団体

### 2 実施事業の概要

目的

次世代を担う青少年に森林環境についての理解を深めてもらうため、子どもたちが気軽に遊び学べる森林を身近に整備する。

H21年度：5団体が実施した。(別紙参照)

### 3 成果

- ・子どもたちが遊び学べる森が増えた。
- ・地域の環境や、自然植生にふれることができた。
- ・野帳観察舎や炭窯の設置により、新たな森林の楽しみ方ができるようになった。
- ・森林整備を子どもたちにも探検してもらい、森林に対する関心を高めることができた。
- ・作業を通じて、県民同士、親子同士がふれあう機会が増えた。
- ・整備した森で森林体験学習等が行われた。

### 4 実施状況写真

NPO初島森林植物園ネットワーク



栗野森林育成会



ふるさとの自然を育てる会



如水保育園



## 平成21年度 子どもの森整備事業

(単位:千円)

	振興局	事業主体	活動場所	事業内容	交付額
1	大分北部	ふるさとの自然を育てる会	豊後高田市	小中学生・一般住民による森林整備や植樹、休憩小屋の設置、遊歩道の整備	300
2		社会福祉法人如水福祉会 如水保育園	中津市	園児によるドングリ拾いや、苗木の植栽、椎茸駒打ちの体験学習を実施するための椎茸栽培小屋の設置	300
3	大分中部	社会福祉法人ポプラの会 且の原保育園	大分市	森林整備(間伐、補植、壁面植樹)、簡易工作物の設置(憩いの森広場の改良)、森のお話	480
4	大分西部	栗野本村森林育成会	九重町	樹齢100年以上の雑木林周辺の雑木・竹林の伐採と遊歩道の延長整備を図る。	375
5		NPO法人初島森林植物園ネットワーク	日田市	台風災害を受けた堂迫自然林を子供達の森林環境教育・実地体験・学習の場として整備する。	600

## IV-1-(2) 子どもの森林体験活動支援事業

### 1 実施主体(地区)

(1) 子どもの森林体験活動支援事業  
NPO等の団体

(2) 森の先生派遣事業  
大分県

### 2 実施事業の概要

目的

次世代を担う青少年に森林環境についての理解を深めてもらうため、NPO等による森林体験活動の支援を実施する。

(1) 子どもの森林体験活動支援事業  
H21年度：15団体が実施した。(別紙参照)

(2) 森の先生派遣事業  
64名の派遣 受講者899名(子ども700名、大人199名)

### 3 成果

- ・多くの森林体験学習が行われた。
- ・地域の環境や、自然植生にふれることができた。
- ・子どもたちの、森林に対する関心が高まった。
- ・森と人の関わりが学べた。
- ・森林体験を通じて、親子のふれあう機会が増えた。

### 4 実施状況写真

未来塾



山浦川・慈恩の滝ふるさとづくり実行委員会



くにさき・さきがけ



森の先生



	振興局	事業主体	活動場所	事業内容	交付額
1	大分東部	くにさき・さきがけ	国東市国東町	小中学生を対象に苗木の移植と下刈り等の管理を体験させる。	350
2		あけぼのクラブ	国東市安岐町	小学生を対象に林業体験活動を実施(炭焼き、椎茸駒打ち)	92
3		千部もみじ村	豊後高田市	小学生を対象に遊びと学習を交えた森林体験教室、並びに森林環境教育を実施	300
4		みんなで遊び場をつくろう会	中津市	中津市教育福祉会館プレーパーク内において、木材や竹を利用した遊び用具製作、工作教室の開催、森林環境教育の実施	250
5		中津市地球温暖化防止対策協議会	中津市 杵築市山香町	旧中津市の小学生を対象にした下毛地域の森林・林業現地視察等学習会の開催	290
6	大分中部	HIヒロセ・森と食の会	由布市、別府市	下草刈体験、竹工作、野外活動・植栽体験、野外活動	200
7		臼杵市	臼杵市	学校林・市有林の間伐・枝打ち体験、植樹体験、間伐材によるベンチ・椅子などの木工教室、学校への木製ベンチ等の設置	214
8		大分東ネイチャーゲームの会	大分市	ウエルカム方式のネイチャーゲームの実施、森林環境税・森林ボランティア活動の啓発、自然写真展、野外料理体験	625
9		大東木材青壮年会	大分市 竹田市久住町	森林作業体験(下刈、間伐)、森林内秘密基地(ツリーハウス)作製、森林環境授業の実施	500
10		社会福祉法人愛の園福祉会 ひばり保育園	由布市	山の自然素材のかずらによる物づくり(対象:園児と保護者、小学生・年3~4回開催)	100
11		世界とつながる交流支援グループリンクプラネット	大分市	森林の観察と「森林と日常生活の関係・影響を考えるワークショップ(合宿)」の開催、合宿で学んだこと、その後の行動をふりかえるワークショップの開催	200
12		南小学校跡地利用推進協議会	豊後大野市三重町	あかい屋根の郷での自然観察、体験学習(炭焼きや椎茸駒打ち体験)	368
13	大分西部	豊後自然塾	日田市	会が開催する自然観察会に参加を募り森林環境学習の必要性等を啓発する。(パンフレット作成・自然観察会用具の購入、参加者送迎バス借料)	400
14		山浦川・慈恩の滝ふるさとづくり実行委員会	玖珠町	自然観察会の開催(年3回)・樹木名板の設置等体験学習を中心に行う。	270
15	大分南部	NPO法人未来塾	佐伯市	佐伯市林内において、森の観察、椎茸のコマ打ち体験、森の達人による講話を行う。	297

## IV-1-(3) みどりの少年団育成事業

### 1 実施主体

委託先：(社)大分県森林整備センター

### 2 実施事業の概要

みどりの少年団等地域で活動している子ども達の見識を広げるため、世界自然遺産に登録された屋久島で、森林の大切さや、自然と人との関わりを学ぶ研修を実施した。

場所：鹿児島県熊毛郡屋久島町

参加者：35名(子ども29名、引率者6名)

日程：3泊4日

行程：屋久島環境文村センター＝屋久島環境文化研修センター＝ヤクスギランド＝塚崎タイドプール＝大川の滝＝栗生マングローブ＝中間のガジュマル

### 3 成果

- ・雄大な自然に触れ、自然のすばらしさを感じることができた。
- ・屋久杉と人との関係から、自然と人がどのように向き合っていくかを学んだ。
- ・研修後に、研修報告書を作成し、各少年団等に配布した。  
(報告書(概要版)500部、報告書100部)
- ・体験発表を実施した。

<子ども達の感想>

- ・屋久島の海はとってもキレイで、ゴミが少なかったです。このことを自分たちの生活にも生かして、ゴミをあまり出さずに、屋久島のような海になったらいいと思いました。(小5、男子)
- ・自然を大切にすることや、時間を守るということをこれから活かして行きたい。(小6、女子)
- ・屋久島にはいっぱい自然があり、すばらしい島なんだと感じた。(小6、女子)
- ・メヒルギという木が自分の力で屋久島にはえていてすごかったです。(小4、男子)

### 4 実施状況写真



## IV-1-(4) 次代を担うエコキッズ育成事業

### 1 実施主体

大分県 委託先：NPO法人大分環境カウンセラー協会

### 2 実施事業の概要

#### (1) 目的

子どもたちに、地球温暖化問題や二酸化炭素の吸収源としての森林のもつ機能について、野外体験活動等を通して学んでもらい、環境に対する意識の高い人材の育成を図る。

#### (2) 実施状況

開催日	場所	参加者 (内子ども)	内容
8/22	豊後大野市	66名 (44名)	内山観音里山・三重川上流で森と川の自然観察、植樹
10/4	中津市	52名 (30名)	中津干潟の観察、耶馬溪ダムの見学、植樹
11/3	玖珠町	66名 (50名)	角牟礼城址登山と自然観察会、植樹
11/14	大分市	43名 (28名)	佐賀関町海辺の観察、関崎海星館見学、どんぐりの苗木づくり、植樹
	合計	227名 (152名)	植林本数：約110本

### 3 成果

- ・ 環境に関する情報は大変多くなっているが、野外体験を通じた学習効果は大きく、参加者の地球温暖化をはじめとした環境に対する意識を変えることができた。
- ・ 地元の住民・NPOの協力により、地域の環境や自然植生に触れることができ、植林活動を行うことができた。

### 4 課題及び今後の取組み、その他

- ・ 多くの子どもたちが参加できたことから、引き続き開催回数を維持していく。
- ・ エコクラブへの新たな加入者の増加が図れなかったことから、エコクラブに対して参加を働きかけ、参加者とエコクラブの交流を図る。

### 5 実施状況写真



内山観音・三重川上流で自然観察



中津干潟で生き物の観察



カブトガニ発見



伐株山にモミジを植樹



中津川の河川敷にハマボウを植樹



どんぐりの苗づくり

## IV-2-(1) 森林環境学習指導者養成・スキルアップ事業

- 1 事業主体 大分県教育委員会
- 2 実施事業の概要

### (1) 目的

環境学習指導者としての基本的な知識や技法を習得し、子どもたちを対象とした環境学習プログラムの企画・運営・指導に主体的に参画することをおして、地域や学校において環境学習を推進する指導者の能力の向上を図るとともに、効果的な学習プログラムを作成・普及する。

### (2) 内容

- ・講師 PLT ファシリテーター・大分人権教育・啓発ワークショップ研究会 足立 恵理 氏  
NPO 法人しぜん あそ・まな・くらぶ代表理事 加藤 千尋 氏

#### ・研修期間及び内容

##### ①環境学習指導者養成セミナー（受講者9名）

区分	実施月日	研修内容
第1回	H21.6.6 ～6.7	○共通基盤づくり ○アクティビティ体験 ○PLT ガイドと参加型環境教育 ○アクティビティを実践してみよう
第2回	H21.6.27 ～6.28	○共通基盤づくり ○アクティビティからプログラムへ ○プログラム作り ○プログラムの実践と相互にアドバイス

##### ②環境学習指導者スキルアップセミナー（受講者12名）

区分	実施月日	研修内容
第1回	H21.9.19 ～9.20	○共通基盤づくりと PLT プログラム体験 ○参加型環境学習の進め方・学び方 ○プログラムづくり
第2回	H21.11.7 ～11.8	○プログラムを練り上げよう ○ファシリテーターの心がけ ○アクティビティ実践
第3回	H21.11.21 ～11.23	○プログラム実践に向けて ○子どもたちを迎える準備 ○わくわくドキドキこのえ探検隊（小学生参加者：25名） ○実践のふりかえり
第4回	H22.2.6 ～2.7	○プログラム実践 ○環境教育ファシリテーターとしてのふりかえり ○環境教育推進のための企画づくり



「わくわくドキドキこのえ探検隊」  
濁った水をろ過しよう



環境教育ファシリテーターとしての  
今までの実践をふりかえる

### (3) 参加者の感想（一部抜粋）

- ・環境学習の大切さを改めて痛感した。過去に受講した内容も新たな気持ちで新鮮に学ぶことができた。今後もぜひ継続していただきたい。
- ・意識の高い参加者が多く、各人の実践紹介などをおして学ぶことが多かった。

## 3 成果と今後の方向性

### (1) 成果

- ・「ワクワクドキドキこのえ探検隊」等において、実際に子どもたちに対して開発したプログラムを実践することにより、受講者は企画力・運営力・指導力を高めることができた。
- ・平成18年度の第1期から第4期までの受講者における連帯感が生まれ、更なる実践交流が促進された。

### (2) 今後の方向性

- ・本事業の成果を把握するために、来年度も受講者の実践状況調査を継続する必要がある。
- ・全セッションの指導を2名の講師に依頼したが、長期間にわたる講師の確保が困難であることも含め、今後は内容によっては、事業担当者などが実施することも検討したい。
- ・仕事の都合もあり受講者が、必ずしも全セッションに出席することが困難であった。平成22年度はできるだけ、日帰りで研修を行うなど日程に工夫をしたい。

## IV-2-(2) 世代間の連携による環境教育推進事業

### 1 実施主体

大分県教育委員会

### 2 実施事業の概要

#### (1) 目的

高等学校においては、体験を重視した環境教育・学習を推進し、生徒の環境への理解を深め、環境を大切にすることをはぐくむとともに、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力を育成することが重要である。

そこで、環境教育の推進校を指定し、小・中学校との連携による環境教育の推進や地域の環境保全活動等についての環境教育に関する実践研究を実施し、学校における環境教育・学習の活性化を図るとともに、地域の環境保全に対するリーダーとしての資質の養成を図る。

#### (2) 内容

小・中・高連携による環境教育・学習の推進

- ・海洋科学高校、日田林工高校、宇佐産業科学高校を推進校として指定
- ・H20の成果を生かし、地域の小・中学生を対象とした環境教室を実施
- ・地域の環境保全活動、高校間の連携による水質、土壌環境保全に果たす森林の役割を学ぶ体験活動を実施

#### (海洋科学高校の実施状況)

・小・中学生を対象の環境教室

カヌー教室・干潟の観察	海辺小学校	79名
水産教室	越智小学校	7名
	四浦中学校	5名
	姫島中学校	23名
海洋科学高校生徒		35名

・地域の環境保全活動

ビーチクリーンアップ	海洋科学高校	40名
海中清掃活動	海洋科学高校	5名

活動回数	6回
------	----

#### (日田林工高校の実施状況)

・小・中学生対象の環境教室

山(森林)と川(水)の関係	赤石小学校	6名
バイオマスについて	台小学校	17名
森の働き	丸山小学校	18名
大気汚染の現状と森林との関わり	五馬中学校	45名
日田林工高校生徒		49名

・地域の環境保全活動

自然林下刈り、景観整備事業見学等	日田林工高校	103名
------------------	--------	------

活動回数	15回
------	-----

#### (宇佐産業科学高校の実施状況)

・小・中学生対象の環境教室

土作り、野菜の栽培、調理	西馬城小学校	39名
稲作り(田植え、稲刈り、調理)体験	四日市北小学校	80名
堆肥づくり体験	四日市南小学校	52名
グリーンカーテン種まき	八幡小学校	47名
宇佐産業科学高校生徒		73名

・地域の環境保全活動

花いっぱい運動、土づくり	宇佐産業科学高校	86名
地域清掃奉仕活動等	宇佐産業科学高校	42名
グリーンカーテンづくり	宇佐産業科学高校	14名

活動回数	21回
------	-----



### (高校間の連携による体験活動の状況)

学校名	場所	内容
海洋科学高校 日田林工高校	宇佐産業科学高校	果樹園で袋かけ実習、農場の環境に対する取組体験
宇佐産業科学高校 日田林工高校	日田林工高校	しいたけのコマうち作業体験

## 3 成果

### ○小・中学校、地域との連携

- ・小・中学校を対象とした体験的な環境教室の実施により、小・中学生の環境に対する関心を高めることができた。
- ・地域と連携した環境保全活動により、実践的な体験活動を実施することができた。
- ・各高校において、環境学習の役割を理解するとともに、学習の深化を図ることができた。また、地域の環境保全団体や小・中学校と、継続して連携を図る体制が整っている。

### ○高校間の交流

- ・高校間の交流により、学科を越えた学習内容の体験が行え、幅広い知識や技術の習得が図られた。

## 4 課題及び今後の取組み、その他

- 地域との環境保全活動等に学習した知識、技術を生かして参加しているが、より多くの生徒による積極的な参加ができるような取組を工夫する必要がある。  
(H21は、インフルエンザ対応や天候の関係で予定行事のうち実施できないものがあった)
- 小・中学校を対象とした環境教室においても、高校間の連携で学んだ内容を生かし、水、土、森のつながりを意識した環境学習の取組など、さらに充実した取組を実施していく。

## 5 実施状況写真

(宇佐産業科学高校：椎茸駒打ち体験)



## IV-2-(3) 森林体験学習促進事業

1 実施主体 大分県教育委員会

2 実施事業の概要

森林体験学習推進校を指定し、外部人材を活用した森林での体験学習を通して児童生徒の森林に対する興味・関心を高め、森林環境保全への意識の涵養を図るとともに、県内の小・中学校への普及を図る。

(1) 推進校における森林体験学習

推進校	活動概要	延べ参加児童生徒数(人)	体験活動(回/年)
中津市三郷小学校	水源地調査、キノコ観察、裏山探検等	491	16
国東市立国見中学校	身近な植物の観察、森林観察、植樹等	251	7
津久見市立第二中学校	森林観察、木材加工、こま打ち体験等	648	9
日田市立高瀬小学校	森林観察、高瀬川観察、下草刈り等	796	12

①年間を通した森林環境学習及び森林環境保全活動の実施状況



森林インストラクターの方との森林観察  
(中津市立三郷小学校)



森林組合の方との植樹活動  
(国東市立国見中学校)



しいたけのコマうち打ち作業  
(津久見市立第二中学校)



シオジ原生林での森林観察  
(日田市立高瀬小学校)

②外部人材を活用した森林体験活動の実施

森林インストラクター、「森の先生」等外部講師の参加人数 90名

(2) 森林体験学習推進会議

- ①専門家の助言を受けながら、森林体験学習のあり方について検討
- ②推進校の取組を県教育委員会のHP (<http://gimu.oita-ed.jp/>) で紹介

3 成果と課題

- ・ 推進校において、地域の人材を外部講師として活用することにより、地域の方々との協力による森林体験活動が実施できた。
- ・ 森を入り口として、山と川と海のつながりについて学習するなど、視野の広い森林体験学習プログラムが実施された。
- ・ 児童生徒の体験活動は充実したが、環境保全行動に結びつける実践が不十分である。日常生活と森林体験学習をつなげて考えさせ、児童会・生徒会活動と連動させるなどして、主体性を促す学習になるよう指導することが大切である。